

授業科目

基礎作業学

担当教員名 永井 洋一、藤目 智博、浅尾 章彦、大山 峰生	対象学年	1	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	◎	○

授業の概要

1. 「作業」を科学的に分析する基礎的知識を習得する。
2. 「作業」を科学的に分析する実験を行う。
3. 実験結果をレポートにまとめ、その一部について口頭発表を行う。
4. 人にとって「作業」はどんな意味を持つか、生活の中から理解する。

授業の目的

作業療法の治療技術である作業活動の理解、作業活動が与える対人的な影響、作業と人との相互作用を理解し、作業活動が対象者の機能回復・維持にどのような機序で作用するのかを理解する。

学習目標

1. 作業活動に関心を持ち、作業とは何かを理解する。
2. 作業活動が対象者に及ぼす要因を理解する。
3. 作業活動を治療的に用いる意義を理解する。
4. 身体及び精神活動が対象者の機能回復・維持に作用する機序を理解する。
5. 治療効果を説明するための初歩的な技術と理論を修得する。
6. 作業活動を定量的または個別的に分析する実践態度を養う。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	基礎作業学のオリエンテーション	講義	大山 峰生
2	作業の定義と日常生活～作業のイメージ、作業と作業でないものの区別、作業を成り立たせる様々な条件	講義, 討議	永井 洋一
3	作業の理解: 形態, 機能, 意味～作業科学Occupational Scienceによる作業の定義, 毎日の意味ある作業, 作業日誌の作成, もし障害を負ったら?	講義, 討議	永井 洋一
4	作業を通じた回復や成長, 生産性・楽しみ・休息, 「人は作業をすることで元気になれる」とは?, ビデオ視聴	講義, 討議	永井 洋一
5	作業遂行に関する理論と機能解剖学的理解	講義, 討議	大山 峰生
6	作業遂行に関する理論と運動学的理解	講義	浅尾 章彦
7	作業遂行に関する理論と神経生理学的理解	講義	
8	実習オリエンテーション (レポート, プレゼンテーション)	講義	
9	機能解剖学的動作解析1	実習	大山 峰生
10	機能解剖学的動作解析2	実習	大山 峰生
11	神経生理学的動作解析1	実習	
12	神経生理学的動作解析2	実習	
13	運動力学的動作解析1	実習	浅尾 章彦
14	運動力学的動作解析2	実習	浅尾 章彦
15	グループ発表・討議	討議	

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	「作業」って何だろう	吉川ひろみ	医歯薬出版	2008年	2,200円+税	
参考書						
その他の資料	プリント配布					

評価方法

授業態度，作業活動参加状況：20%

実習レポート：40%

筆記試験：40%

履修上の留意点

実習時は，運動を行うのにふさわしい服装で参加してください。

オフィスアワー・連絡先

大山峰生；研究室Q310 月，木曜日10:00-12:00，他は17:00-18:00 oyama@nuhw.ac.jp

永井洋一；研究室Q307 火，水，木曜日の 12：30～13：00 nagai@nuhw.ac.jp

藤目智博；合同研究室Q304 毎日12:15-13:00 fujime@nuhw.ac.jp

浅尾章彦；合同研究室Q304 毎日12:15-13:00 asao@nuhw.ac.jp